



体験型ダイバーシティ
教育プログラム

あそびのような
スポーツのような
授業

マルチ
な
ぶ

「スポ育®」とは？

スポ育とは、2010年から実施している、小学校4年生～高校生を対象としたダイバーシティ教育プログラムです。
視覚に障がいのある選手と子どもたちが触れ合い、ブラインドサッカーボールを使ったさまざまなワークを体験してもらうことで、障がい者への理解促進だけでなく、相手を思いやる想像力やチームプレーを進める上でのコミュニケーション力など、多くの気づきや学びを提供しています。

スポ育実績 国内外 **24地域** で実施

実施件数 **4,805** 件

体験者数 **190,450** 名



体験した先生の声



「どんなことをするのだろう」と様子を見ている子どももいましたが、慣れてくると笑顔を見られるようになり、安心して活動することができていました。



声かけがどんどん具体的になっていきました。普段伝わっていると思っていた言葉が実は伝わっていなかったかもしれないということを実感しているようでした。



運動があまり得意ではありませんが、目隠しをした状態でプレーをすることはサッカーよりも楽しかったです。



目が見えなくなった時に「友達のおかげで、前向きな気持ちになれた」という選手のお話しが心に残りました。

ブラインドサッカー®とは？

ブラインドサッカーは、アイマスクを装着した4人のフィールドプレイヤー（FP）と目の見えるゴールキーパー（GK）で行う5人制サッカー。FPはボールの転がる音や仲間の声、相手が走る音や気配、GKや監督、ガイドの声などを頼りにプレーします。仲間と自分を信じ、見えないとは思えない勢いで戦う姿は迫力満点！



オプションプログラム

おも活

そっと さっと あんしんをプロジェクト

「スポ育」では、目が見える人も見えない人も一緒になって協力し、共に喜び合う体験をします。

障がいがある人も当たり前隣に居ること、障がいの有無に関わらず誰に対しても思いやりの気持ちが大切であることを学びます。さらに一歩進んだ学習として、日本ケアフィット共育機構が提供する「おも活」があります。障がいのある人（もしくは他者の）の困りごと、相手の立場になって考えるとはどういったことなのか自主的な問いや考えを引き出し、誰に対しても分け隔てなく接することのできる心のバリアフリーを目指すカリキュラムとなっています。



スポ育

検索

スポ育特設サイト ▶▶ <https://supoiku.b-soccer.jp>



特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3F
TEL: 03-6908-8907 MAIL: supoiku@b-soccer.jp